

Crematory

火葬場整備を考える

火葬場建設候補地の選定に市民の声を

市は、御前崎市単独の火葬場建設に向けて計画を進めています。本年度は、候補地の選定に市民のみなさんの声を反映させるため、火葬場建設候補地検討委員会を立ち上げました。

委員は、町内会長の各地区総代、商工会の代表、農業委員会の代表、女性や子育て世代の代表ら20人で、本年12月をめどに意見をとりまとめ、市長へ報告することとしています。

【火葬場建設候補地検討委員会】

市役所で5月8日、第1回火葬場建設候補地検討委員会が開催されました。会議の冒頭、柳

澤市長は、最終的に市が責任をもって候補地を選定するという強い決意でこの事業に取り組むことを委員に伝え、協力を要請しました。

委員会はこれから1カ月に1回程度開催される予定で、検討された内容は広報おまえどきでお知らせしていきます。

【先進地視察】

同委員会では5月31日、菊川市にある火葬場「東遠地区聖苑」と岐阜県各務原市の「瞑想の森市営斎場」を視察しました。それぞれの委員の火葬場に対するイメージも大きく変わり、今後

の委員会の議論も、より活発になることが予想されます。

▼第1回火葬場建設候補地検討委員会



▼各務原市「瞑想の森市営斎場」視察



照 会 環 境 課 ☎0537-851162

また、発電所周辺で採取される農畜産物や海産物、土壌や水などの環境試料を調査し、発電所からの放射線が影

響を及ぼしているか確認しています。環境試料は、市の立ち会いの下で採取され、県と中部電力で放射線の測定や分析をした後、専門家組織により検討・評価され、調査結果については県が発行する『原子力だより』でお知らせしています。

この調査は、発電所の運転開始前の昭和47年から実施されており、長年、発電所周辺の人々の健康と安全確保に努めています。



▲市役所西側に設置されているモニタリングステーション

Atomic

暮らしと原子力

浜岡原子力発電所周辺の
環境放射線監視について